

2015 年 5 月 コラム

この親にしてこの子あり

「この親にしてこの子あり」。元々は優れた親には立派な子供が生まれるという親子共々の褒め言葉だが、最近では逆に使われることが圧倒的に多いように思う。▼地域の自治会有志で毎日子供たちの下校時に通学路で交通安全指導を行っているが、子供たちのマナーが極めて悪い。いつ事故に遭ってもおかしくない。注意をすると「うるせー」「おじさんにそんなこといわれるすじあいじゃねえ」・・・▼このあいだ注意された子が家で親に言いつけ、親から自治会長宅に「なんで叱るのか」と文句の電話があったという。耳を疑ったが、そういえば前に知人の先生が「今ちょっときつく指導するとすぐ親が出てきちゃう」とこぼしていたことがあった。まさに「この親にしてこの子あり」。親の躰けが先決のようだ。▼中には「ただいま！有難うございます」と、笑顔で声をかけてくる可愛い良い子もいるのだが・・・両方の親の顔が見たい。